

しゅうれんかい (修練会) Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年4月21日号 (通算第6号)

子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

4年生の女の子から「わたし、友達があまりいないので、気になっています。どうしたらいいですか?」という相談を受けました。とてもいい質問です。

友達は多くいるか、少ないかは心配する必要はありません。心から信頼し合って、楽しく、何でも話しのできる友達がいれば、その人数は関係ないのです。

それよりも、普通の友達と挨拶をしたり、色々なおしゃべりができたりしていますか。仲の良い友達(親友)を大切にするだけでなく、誰とも普通に話したり遊んだりするとよいと思います。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)



何人ものお母さんから「新しい学年のスタートに当たって、子どもの英語の学習のことが気になります。小学生の英語学習はどのようになっていますか?」と、質問されました。

現在は、外国語活動(多くの学校は英語)を5・6年生が週1時間学習しています。ところが、今、外国語活動を3・4年生で週1時間、5・6年生は英語科の学習を週2時間にすることで検討されています。小学校は、英語で話すことになれる、外国人に話しかけたり、話しかけられてもできる範囲で受け答えをしたりできるようになることが大切だと言われています。

保護者会の時に、担任の先生に質問してください。お子さんが関心を持っていれば、TVやラジオの子供向けの英会話番組を視聴させることも、英語に慣れる意味で効果的です。

学校の先生がたへ

新年度を迎えて、新規採用の担任の先生から「学級経営案を書くことになりました。どのように書いたらいいでしょうか?」という質問をいただきました。

初めてのことから、基本的には、あなたの学校の「学級経営案作成の手引き」か「先輩の学級経営案」を参考にして作成することをお勧めします。

校長先生の学校経営案、学校の教育目標、教育委員会に提出した教育課程届などを参考にしつつ、学年目標を踏まえた学級の目標、学級の子どもの実態(含む健康上など配慮を要する子供)、学級経営で特に重視する事柄、各教科・領域の指導の重点、保護者との連携、子どもの安全・安心の指導・対応・配慮などについて検討し、組み立てていくとよいと思います。新学年の始めで、慣れないのに色々なことを次々としなければならぬので、先輩方を真似て、悩まず・ひるまずどんどん進めましょう。失敗は成功の母です。

下書きの段階で、学年の先生、先輩の先生、校長・教頭先生に見ていただき、指導をしてもらうとよいと思います。初めから完璧なものは無理ですから、自分の思い通りに作成してみて、それに対する指導・助言を素直に受け止めて、改善していくとよいでしょう。

その際、担任する子供たちのよりよい成長を願いつつ、担任として具体的にこのような指導を1年間誠実に続けるという決意が何よりも重要です。

なお、学級担任ではない教科担任、養護教諭、教育相談などの先生も、分担していることについての「学級経営案のようなもの」を作成して、実践することをお勧めします。

